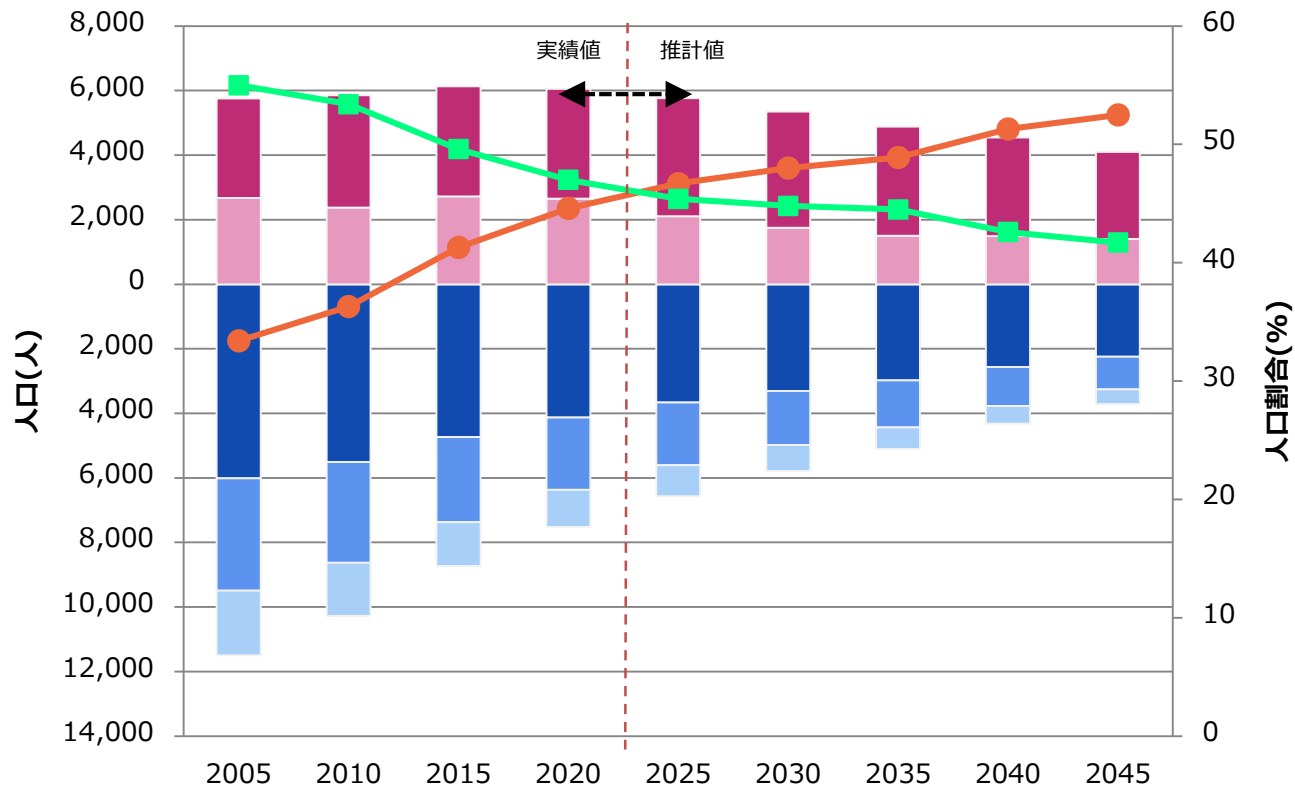


地域包括ケア見える化システムを活用した地域分析

小豆島町高齢者福祉課

人口の推移



小豆島町の高齢化率の降順		
(2015年10月時点)		
香川県内	1番目	17保険者
全国	154番目	1,565保険者
(2025年の推計値)		
香川県内	1番目	17保険者
全国	191番目	1,512保険者
(2040年の推計値)		
香川県内	1番目	17保険者
全国	271番目	1,512保険者

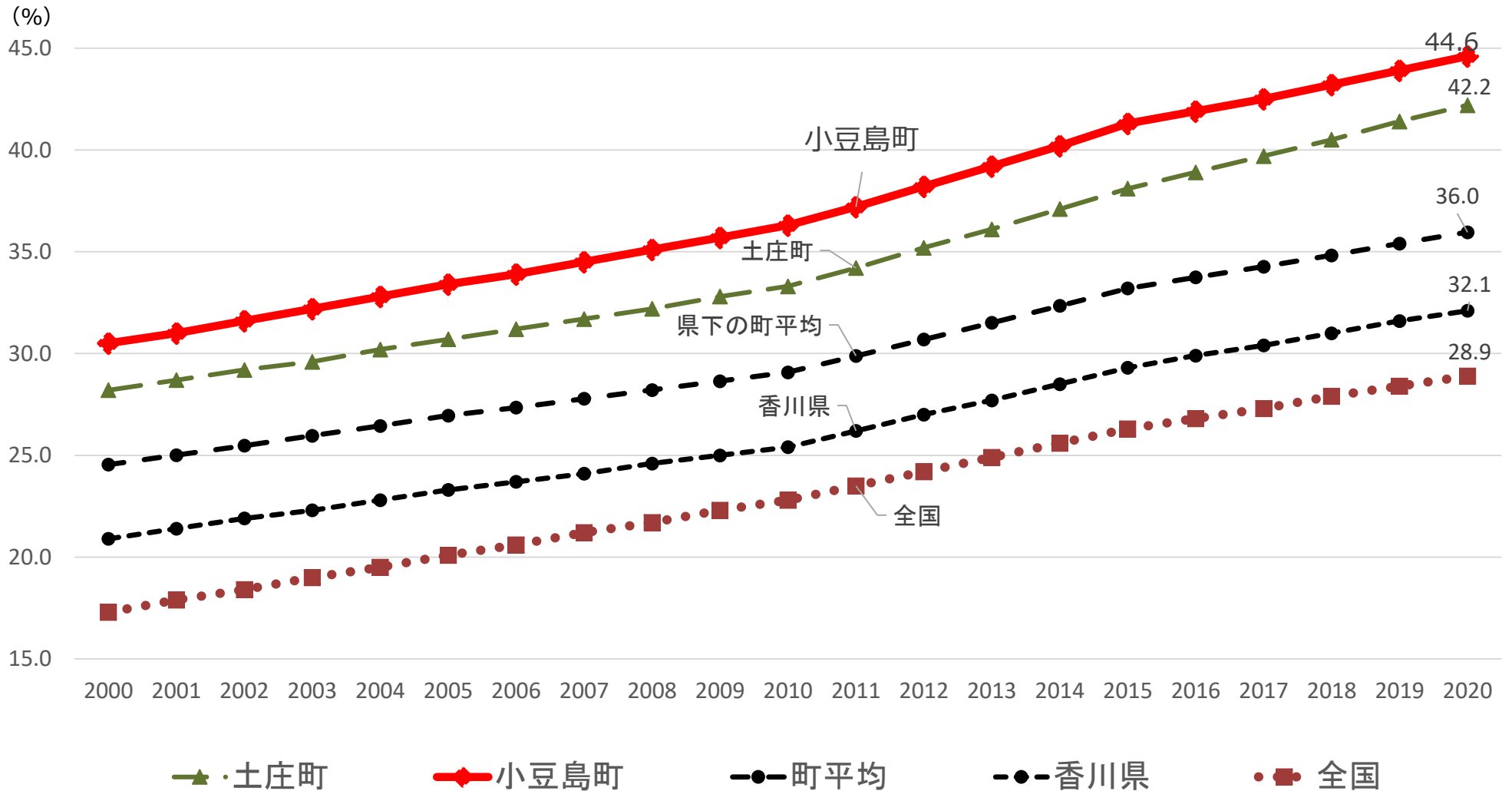
- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 15歳未満
- 15歳～40歳未満
- 40歳～65歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

💡 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると小豆島町の人口は2025年12,332人、2040年8,859人と推計されています。

💡 高齢化率は2025年46.7%（全国30%）、2040年51.3%（全国35.3%）と推計されています。

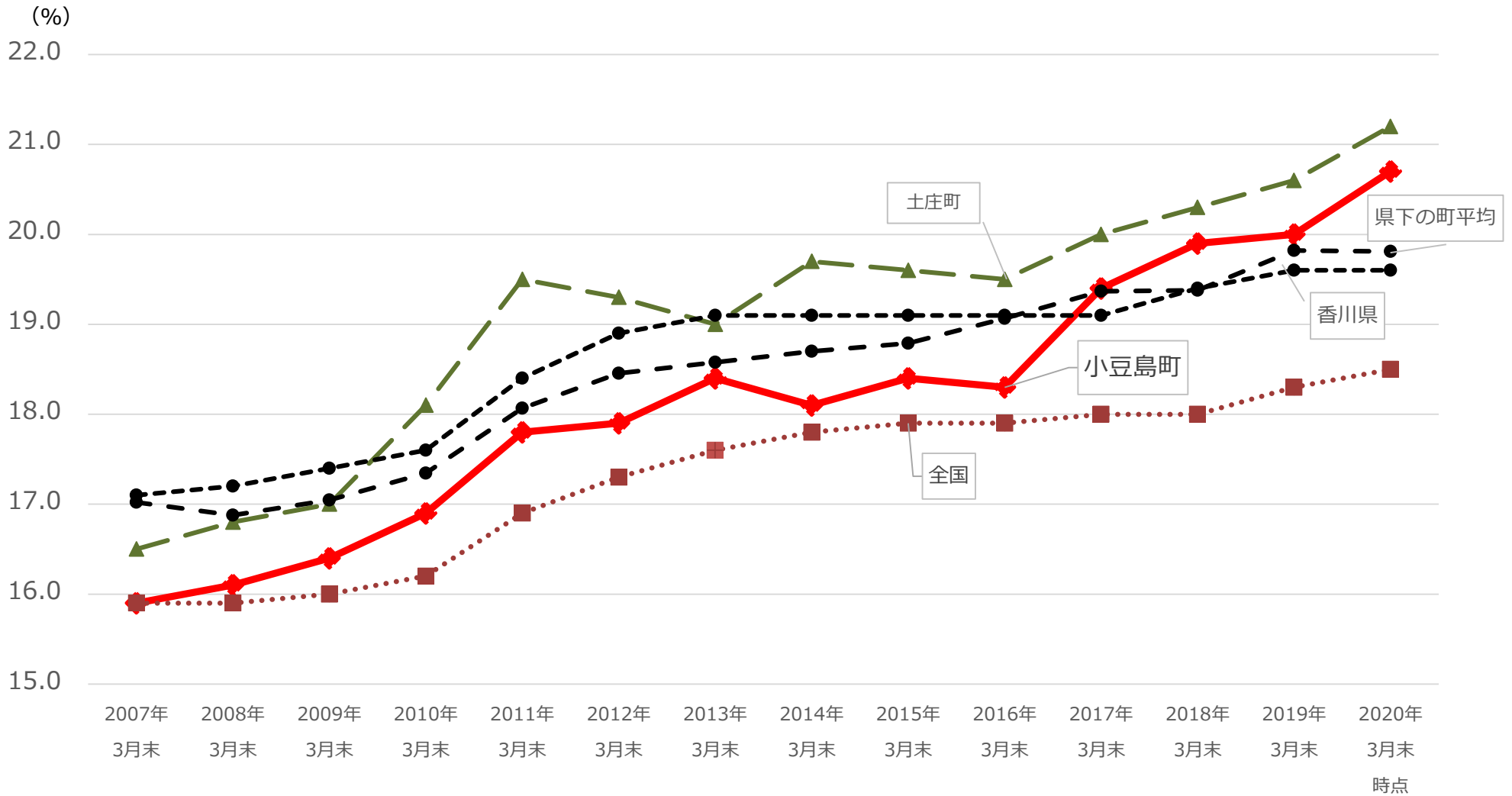
高齢化率の推移



💡 高齢化率は、近隣町に比べても高く、全国平均、県平均を大きく上回っています。

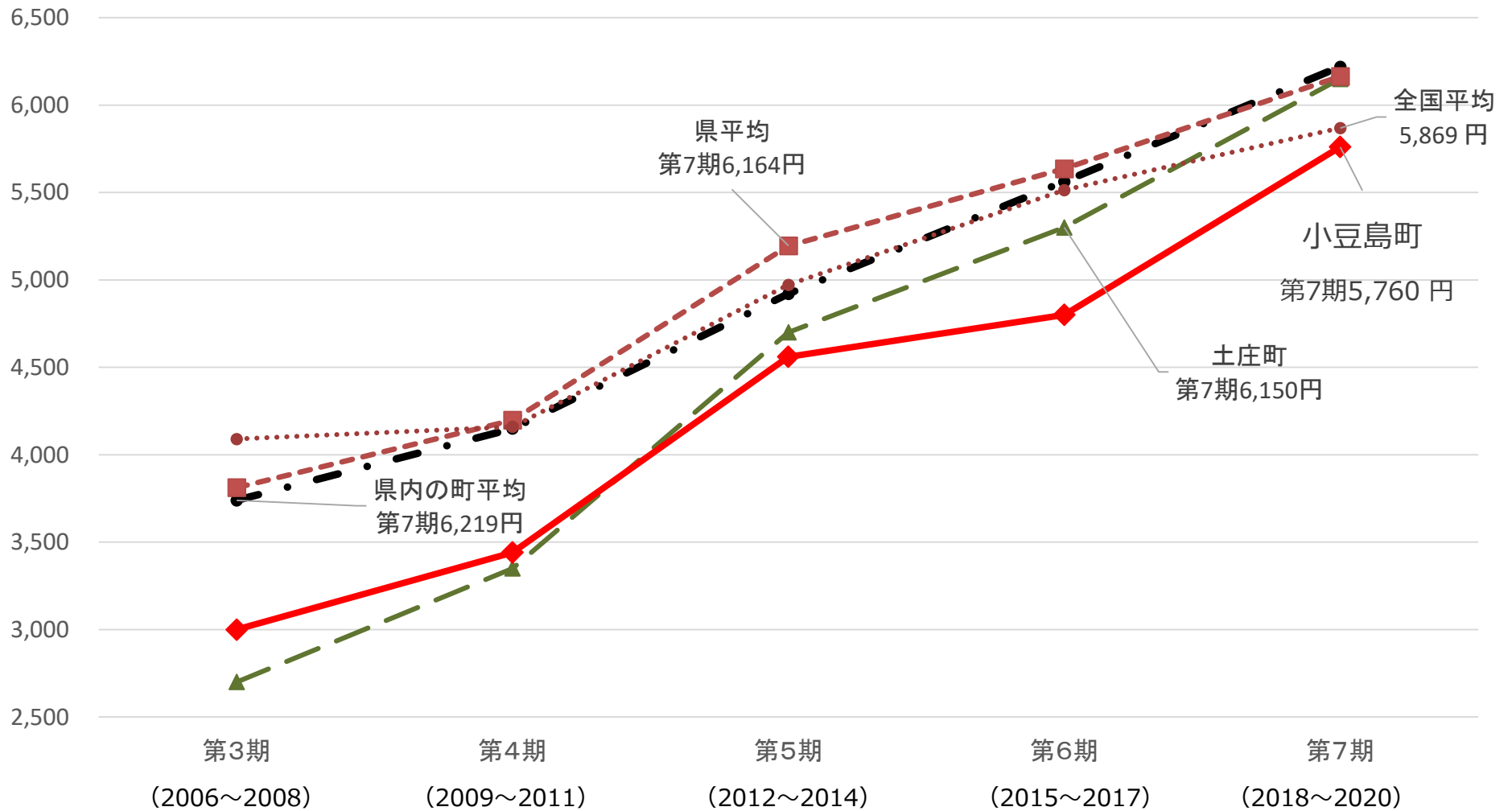
出典：総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

認定率の推移



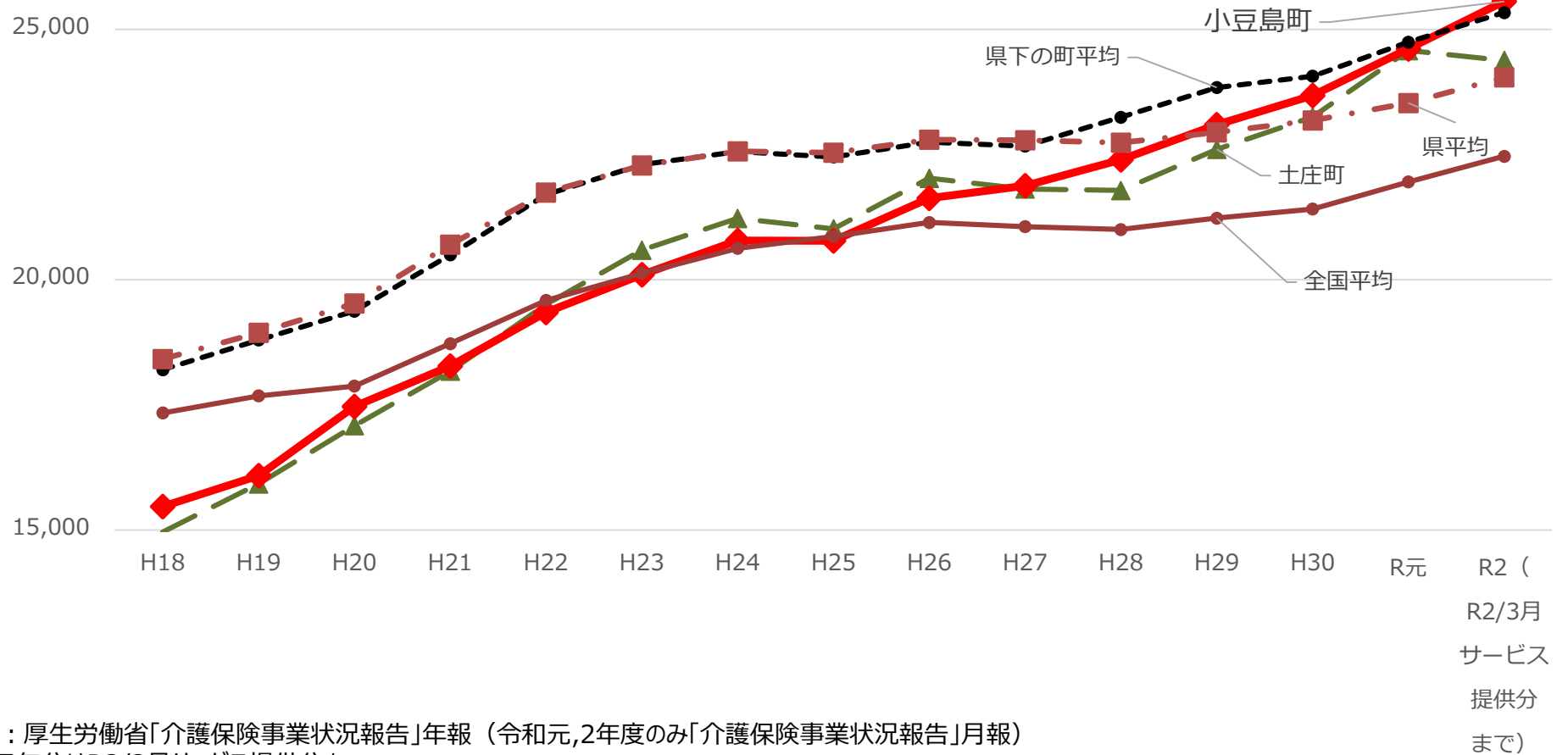
💡 認定率は微増傾向であり、土庄町を下回るものの、全国平均、香川県平均より高くなっています。

介護保険料の推移



💡 介護保険料は、全国平均、県平均を下回っています。

第1号被保険者1人あたり給付月額の推移

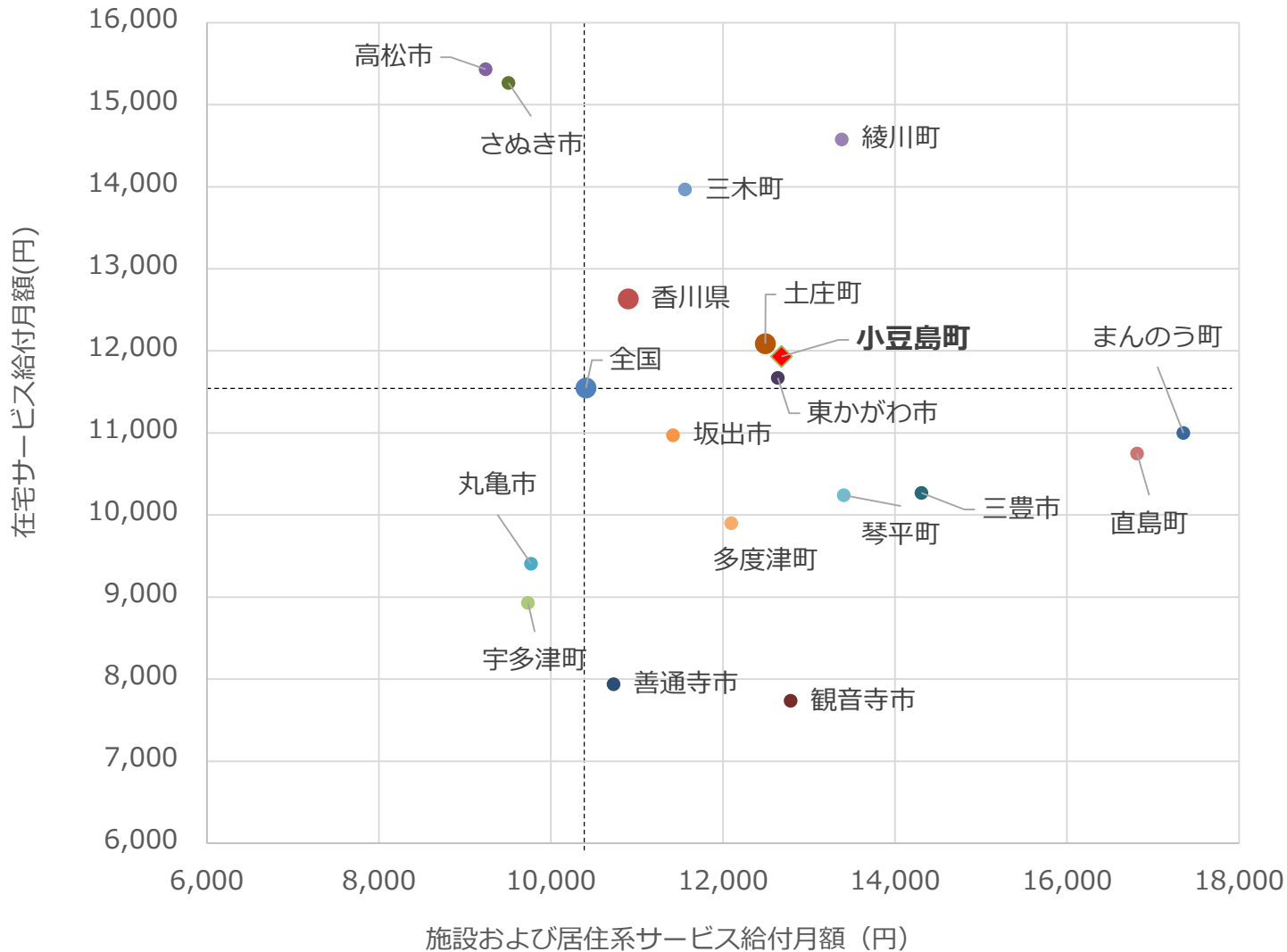


出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

※R元年分はR2/2月サービス提供分まで

💡 給付月額は微増傾向であり、全国平均、香川県平均より高くなっています。

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）の状況



本指標は「第1号被保険者1人あたり給付月額」を、在宅サービスと施設および居住系サービスという軸で分け、散布図で示すもの

全国平均を中心に比較すると、小豆島町は在宅、施設および居住系サービスともにバランスして使用している地域と言えます。

※「在宅サービス」、「施設および居住系サービス」

- ・在宅サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護
- ・施設および居住系サービス…介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

現状分析と要因について

①現在の高齢化率は全国・香川県平均より高い割合になっており、町の高齢者人口は減少していく見込みですが、引き続き高齢化率は年々上昇していくと推計されています

➡地域包括支援センターの役割について周知を行うとともに、自治会組織や民生児童委員との連携強化等が必要だと考えます

②認定率が高い割合になっているが、本町は高齢化率が県下で最も高く、中でも75歳以上の高齢者が多い状況にあります

➡健康寿命を延ばし、長期間自立した生活ができる総合事業の「一般介護予防事業」や「介護予防・生活支援サービス事業」の周知・利用が必要であると考えます

③在宅、施設および居住系サービスともにバランスして使用しています。

➡一月当たりの給付額は高い割合となっていますが、全体的に見てサービスのバランスはとれている状況にあると考えます